

放送日 平成30年3月1日(木)

担当者 エコミュージアムセンター 若澤 路子

おはようございます。エコミュージアムセンターの若澤です。

今年度、私は外部において、いくつかの研修を受ける機会に恵まれました。今日はその中で、特に自分の印象に残っており、組織の中で日々の仕事を進めるにあたって大切であると感じた二つの言葉について、皆さんにご紹介させていただきたいと思います。

まず一つ目は、「組織の中で上に立つ者は、自分よりも、全体を優先することを肝に銘じること。」

これは、昨年の4月に京都市の副市長に就任された村上圭子氏の言葉です。

組織の成果を上げるためには、自分自身の成果を守ることを優先するのではなく、常に全体の利益や、組織のパフォーマンスの向上を第一に考えることは大切なことだと考えます。

二つ目は、「組織の中で上に立つ者は、メンバーの力を引き出す言葉や行動に、気を配ることに力を注ぐこと。」

これも同じく、京都市の村上副市長の言葉です。

トップダウンの圧力で組織を管理し、メンバーを委縮させてしまうのではなく、メンバーの持つ可能性を見極め、それを活かす組織の運営が必要とされていると思います。

これらの言葉は、組織の上に立つ者はもちろんのこと、私たち一人一人が自覚することで、職場環境の向上や、組織のパフォーマンスの向上が図られると考えます。日々、心掛けていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月2日(金)
担当者 学校給食センター 笹森 明子

おはようございます。学校給食センターの笹森です。

現在の給食センターは、昭和49年に建設され、小学校8校に対し、教職員分も含め毎日約3,300食の給食を提供しております。また、中学校給食につきましては、広葉中学校と西の里中学校の2か所の調理場から、市内中学校に対し、教職員分も含め毎日約1,900食の給食を提供しております。

今年度から公会計制度が開始され、私会計に比べ、より公平かつ安定した給食供給に努めております。

献立につきましては、栄養教諭や栄養士が、毎日、美味しく、栄養バランスが取れた献立をたててくれています。育ちざかりの子どもたちが喜ぶ給食を目指しています。北広島市の給食は、小学校・中学校ともに、美味しいと評判になっており、今後も安心・安全な給食の提供を心掛けてまいります。

また、食物アレルギー等で給食を食べることのできない子どもたちのへの配慮から、小学校の給食にはソバ、生魚、魚卵、エビ等は一切使用していません。現在の給食センターは、建物の構造等の理由からアレルギー除去食や代替食の提供はできませんが、卵が入っていないマヨネーズを使用するなど、アレルギーを持つ子どもでも食べることのできる給食を提供するよう努力しています。

現在、「子どもの貧困」等が話題となっておりますが、学校給食が食のセフティネットになる一面もあり、今後もその役割は重要になっていくと考えております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月5日(月)

担当者 予防課 中平 駿也

おはようございます。北広島市消防本部予防課の中平駿也です。

今日は、私が仕事をする上で心がけていることをお話させていただきます。

ご存知のとおり、消防は現場活動で体力を使います。いつ悲惨な現場がやってくるかわからず、また、その時にどのような過酷な活動が求められるかわからない状況で職務についております。

2年前の真夏、倉庫が全焼した火災で私が現場隊として活動した時、熱中症のような症状が出て現場活動中にもかかわらず少しの休憩をいただいたことがあります。

その火災でたまたま逃げ遅れた人がいなかったのも、尊い命を無駄にすることは無かったのですが、もしそこに逃げようと必死でもがいている人がいたら、と考えると今でも本当に当時の自分に腹が立ちます。

私は、普段から人一倍トレーニングを積んでおり、体力には自信がありました。しかし、その事案があってから、僕は今の自分に満足せず、消防士としての使命を全うするために、体力に限らず必要なことを常に向上心を持って職務に当たっています。

人間は、何か刺激が無ければ現状の安定した日常を送るものだと感じております。「必要最低限のことはとりあえずやろう」などと考えるものです。新しいことを始めたり、今までやっていたことを変えることは、エネルギーが必要ですが、一人ひとりが少し意識を変えるだけで、チーム全体としてより活発な集団になると思います。

早速今日から、この「向上心」を忘れずに、職務に、プライベートに、取り組んでほしいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月6日(火)

担当者 消防2課 南谷 顕史

おはようございます。消防署消防2課消防担当の南谷です。

私は、「心がけていること」を題材にお話させて頂きたいと思います。消防職員以外は普段馴染み無いと思うので、私が普段乗車している消防車の火災出動時のお話をはじめに少しだけしたいと思います。

火災出動をするとまず、その建物が一戸建、共同住宅、工場、車その他何なのか、木造鉄骨造その他の構造なのか、要救助者の有無、人数、所在、出火場所、火や煙はどこから噴出し、その煙は何色なのか、隣接建物への延焼危険その他の危険要因はあるかなどの情報を瞬時に判断し、4人程度で編成された消防、救助、救急隊等が状況を読み、複数の隊が連携をとり活動していきます。

その連携について私は、糸に例えて考え、消防更には市職員に当てはめ非常に大切にしています。繊維を人とし、撚り合わされて糸となり、糸を隊とし、さらに撚り合わされてロープとなります。そのロープ作りをひとつの現場活動と考え、連携を図り綺麗なロープ作りこそが最良最善の活動となると考えます。繊維は、人です。私は、縦の繊維です。隣の繊維は誰でしょう。横の繊維は誰でしょう。身近な人であると考えますので、本庁その他に勤務している同期の方々であると考えてます。分厚い丈夫で綺麗なひとつの布を作りたい。そして、より良い街にしていきたいと考えています。

お分かりの方もいると思いますが、『糸』という歌の歌詞に感銘を受け、当てはめて例え、消防に限らず多方面にアンテナをはり、コミュニケーションをとることを日々心がけ、糸から様々な物を作りたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月7日(水)

担当者 消防1課 池淵 公宣

おはようございます。消防署消防1課の池淵公宣です。

さて、皆さんは本市に救急車が何台実働しているかご存知でしょうか？駅前の消防署に1台と大曲出張所にある1台が常時稼働する救急車です。

過去には当市の救急車2台が出動中の場合、更に救急要請があった際には隣接する他市へ救急車の応援を要請し現場に向かう状況でありました。当然現場へ到着するまでの時間もかかりますし、救急車を要請した方への負担は大きく、状態によっては、命に係わる問題であることです。救急車が到着するまでの間は状況に応じて、消防車が応急手当のために現場に向かう場合もありますが、一早い病院への搬送は不可能であります。

平成19年3月から、非常用救急車を活用し、2台の救急車が出動時に救急要請があった場合に救急隊員の資格を有する消防隊員で編成し、出動をしています。

非常用救急車とは、通常2台ある救急車が車両の法定点検や故障等の際に予備車として使用されていますが、前に言った様な場合には、救急出動を行い少しでも要請された方への負担軽減や救命を向上する事を目的に行っています。

限られた人員の中で少しでも市民の皆様に対しての救命を内部で努力し、取り組んでいることを今回はご紹介させていただきました。

我々が忙しいと言うことは、市民の方々に悪い事が起こっているという事なので消防は忙しくない事が一番良いことです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月8日(木)
担当者 救急指令課 鳴海 竣太

おはようございます。消防署救急指令課救急担当の鳴海竣太です。

私の担当である当市の救急現状についてと救急車の適正利用についてお話させていただきます。

昨年、平成29年の救急車の出動件数は2163件となり平成25年から5年連続で2千件を超える件数となっています。その中で搬送した方の約50%が入院治療を必要としないいわゆる軽症となっています。

当市には、3台の救急車があり駅前の消防署に2台、大曲出張所に1台配備されています。駅前の2台のうち1台は非常用救急車で当市は2台の常用救急車で市内全域をカバーしています。どちらかの救急車が出動すると1台で市内全域をカバーしますが、当市の地理的条件により東部・団地地区から大曲地区、大曲地区から東部・団地地区に出動すると到着するまでに約10分かかります。これは全国平均で約7分とされている救急車到着時間を大幅に上回る数値です。

日本では統計上7.5分に1人が心臓突然死で亡くなっており、その多くは心室細動と呼ばれる重篤な不整脈で迅速な心肺蘇生が必要となります。ある資料では心肺蘇生が1分遅れるごとに救命率は10%ずつ低下していくとも言われています。1分1秒を争う状況の中、本来7分で到着できる救急車が10分かかり到着したら当事者は何を思うのでしょうか。それが自分の家族だったらどうでしょうか。もし自分の身の回りでそのようなことがあった際には本当に救急車が必要なのかを考えてみていただくと幸いです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月9日(金)
担当者 救急指令課 佐藤 英樹

おはようございます。消防署救急指令課救急担当の佐藤です。私の担当している救急1担当は5名で構成され主に救急隊として勤務しています。今日は、救急車の適正利用についてお話ししたいと思います。

通報から救急隊の現場到着までの所要時間が全国平均約8分を超えるという統計があります。この件数増加の背景には、携帯電話の普及や高齢者社会などが原因にあります。救急車を要請する利用者のマナーにも変化がでてきています。

北広島市では、常時救急隊を2隊配置し24時間体制で救急要請に対応しております。平成29年の救急出動は、2163件で前年と比べると23件増加しており、病院へ搬送された方は1944人。これは市民の約30人に1人の方が救急車を要請していることとなります。このうち4割以上の方が、入院の必要のない「軽症」の患者さんでした。

近年、単なる酒酔いや病院で早く受診できる、入院のための病院までの移動手段が無いからという理由などで緊急性がないのにも関わらず救急車を要請するというケースが増えています。

救急車は、事故による大怪我や緊急に病院へ行く必要がある人を搬送するものです。緊急ではないのに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする要請が発生した場合遠くの救急車が出動することになり、到着するのに遅れてしまい救える命も救えなくなってしまうおそれがあります。職員の方々にも救急車の適正利用に御協力をお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月12日(月)
担当者 消防大曲出張所 佐藤 史紀

おはようございます。消防署大曲出張所の佐藤です。

私は、今年度から主に予防査察業務を担当しておりまして、今年に入って江別市にあります北海道消防学校に2週間入校してきました。

皆さん消防職員に学校があるという事をご存知でしたか？消防に採用されると初任教育と言う課程に約6か月間入校し、消防の基礎となる部分を学べます。それだけではなく、専門的な知識や技術を習得する課程も多々あり、その1つとして予防査察科と言う課程があります。私は、その教育を勉強してきました。学校に入校しますといくら近隣であっても全員が寮に入らなくてはなりません。

道内各地区から50名の消防職員が入校し、立入り検査や違反処理についての座学及び実習を講義して頂き、寮では4名1室での生活、学食や風呂、夜の親睦など色々一緒に過ごして来ました。

かれこれ学校にも7回入校し道内各地区に沢山の同期がいます。仕事の相談や雑談の出来る仲間がいることで、私のスキル向上や息抜きに繋がっていると思います。同様に皆さんとも情報を共有し仕事も円滑に進めるよう努力していきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月13日(火)

担当者 消防1課 徳原 唯人

おはようございます。消防署消防1課の徳原唯人と申します。

昨年の4月から新任職員として採用していただき、消防学校での生活も含め、間もなく1年が経過しようとしています。社会人1年目ということもあり、最初は、不安でいっぱいでしたが、同期、また上司の方々ご指導の下、毎日勉強しながら、業務に励んでおります。

消防士は、物心ついた時からずっと憧れていた職業の1つでした。たまたま通りかかった火災の現場で必死に炎と戦っている消防士を目にした時に感動を覚え、この仕事に興味を持ち始めました。それまでは、火災が発生したら出動し消火にあたる、これだけが消防士の仕事だという間違っただけの認識をしていました。

私の所属する消防課では、火災だけでなく交通事故や救急隊の支援、自然災害やガスの漏洩など様々な事案にも対応します。また、消火栓の維持管理や避難訓練の立会、入居者の調査や広報活動なども行っています。

約6か月半、消防署に勤務して私が特に感じていることは、市民からの目です。大切なことは、市民に安心感を与え、頼もしく思われる存在になることだと考えています。もしも助けに来た消防士が貧弱そうで頼りなさそうな消防士だったら皆さんはどう思うでしょうか。たった1人の印象で組織全体のイメージダウンにつながってしまうことがあるかも知れません。そうならないためには日ごろから無数の目線を感じ取り、普段の行動を意識して過ごすことが大切です。身だしなみはもちろんのこと、市民への対応や勤務中の過ごし方、挨拶1つ取ってもそうです。

信頼される職員を目指すため、日々の鍛練を惜しまず、市民とのかかわり方を改めて見直し、背中には北広島の消防を背負っているという自覚を持ってこれからの消防士生命を築いていきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月14日(水)

担当者 消防2課 保田 祥吾

おはようございます。消防署消防2課の保田祥吾です。

早いもので、来月には採用から2年目の春を迎え、今日は、私が日々業務を行う上で心がけているコミュニケーションについてお話しさせていただきます。

消防業務は、指示・命令・伝達を図りながら隊として活動を行うため、的確な意思疎通が失われると重大な事故に繋がるのが懸念されます。

コミュニケーションは、意思の疎通、心や気持ちの通じ合いの事で、アクションに対してリアクションした場合、そこに成立するものです。自分の意思を伝え、相手に反応・返答が悪いと相互伝達は不成立と言えます。市民と市職員との間にコミュニケーションの不成立はあってはいけないと思います。

しかし私は、思春期から滑舌が悪く、自分の意思が思う様に相手に伝わらないことから、自身と相手との双方にいらだってしまう精神的負担がありました。消防業務は迅速対応する上で、円滑なコミュニケーションが求められるため、対話に時間を要することを改善しなければいけません。

人の第一印象は、声で決まると言われ、滑舌の悪さを改善するため、アナウンサーが実施するトレーニングキットを購入しましたが、すぐに効果が表れないため、表情や話すスピード、声のトーンなど、日々の心がけにより少しでも人とのコミュニケーションが向上できるよう努めていこうと思います。

ところで今日はホワイトデーです。大切なあの方へ、日頃の感謝を伝えてみてはいかがでしょうか？

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月15日(木)

担当者 消防1課 塚崎 晋平

おはようございます。消防1課消防担当の塚崎晋平です。

私は、4月から消防担当に配置され、火災出動の際は放水隊員として現場に赴き消火活動を行い、心肺停止事案の際は、救急隊の補助として心肺蘇生法の実施や搬送支援を行っています。また、消防訓練の対応や、消火栓の開放点検、降雪による除雪なども業務の一環です。

4月中旬から北海道消防学校初任教育に入校し、全道各地の消防士と一緒に、消防に対する基礎的な知識や技術を学びました。その中でも特に安全管理についての講義が印象的で、これは消防活動を行うにあたり一生の課題だと考えました。

安全管理の言葉に「釘ひとつ拾う心に事故はなし」という言葉があります。これは、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)のすべてが集約された言葉であり、小さな要因を見逃すことが大きな災害につながる。ヒューマンエラーを詠った標語です。ヒューマンエラーは、誰しも起こり得るものですが、それを未然に防ぐ、回避するために、危険予知トレーニングや4S運動を行うことが重要になってきます。災害現場では、至る所に危険要因が潜んでいますが、自分自身が些細なことに気が付く、また気付いていない隊員がいるのであれば気付かせることが安全管理では、大切になります。

また、安全管理は、なにも災害現場だけではありません。毎勤務時の朝礼後に必ず行う車両点検や資機材確認、自身が身に着ける装備の確認も大事な安全管理の一つです。

「安全・確実・迅速」に活動を行うためにも、まずは、安全に対する意識を高く持ち、日々の訓練から心掛けていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月16日(金)
担当者 消防総務課 中屋 圭太

おはようございます。消防本部総務課の中屋です。

平成15年度に採用され、15年目を迎えている34歳です。今年度も残すところ残り15日となりました。

4月に総務課へ異動となり、毎朝出勤し夜に帰宅する、一般的にはごく当たり前の生活を初めて経験しています。

先日14日は、ホワイトデーでした。我が家は、妻1人娘3人の5人家族で、私にとっては、何事にも常に圧倒的不利な状況ですが、今回も「手作りチョコに対するお返しは・・・」とのプレッシャーを感じ、夜遅くクッキーを作った次第であります。

さて、消防の総務課では、人事や予算以外にも様々な業務がありますが、私は、職員の被服・装備品管理、契約事務等を主に担当しています。

今、私が目標としている業務は、火災現場等で着用する防火服の更新です。防火服は、危険な災害現場で活動する消防隊員にとって、命を守る最も重要な消防装備であり、特に高い安全性能が求められるところですが、現在は耐用年数を越え、性能の劣化が多く見られることから、修繕を重ねながら使用しているのが現状です。

消防では、24時間交替制勤務で、市民の安全安心を守るために日々、訓練や現場活動を行なっています。

近年では、建築物の高層化・深層化やその使用形態の複雑化、少子・高齢化の急速な進行等による社会情勢の変化によって、各種災害事象は複雑多様化とともに大規模化の様相を強めており、これまで想定もされていなかった災害が発生しております。

各種被服や装備資器材を充実させ、活動する隊員一人一人が十分な安全管理体制のもと安心して現場活動に臨めるよう尽力してきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月19日(月)

担当者 消防西の里出張所 橋本 充康

おはようございます。消防署西の里出張所の橋本です。

私は、4月から現在の担当に配属され消火、救助、救急支援など現場活動隊として勤務しています。また、避難訓練の対応、幼稚園児や小学生達への署内見学なども主たる業務としています。

今日は、署内見学の際に小学生から受付けた質問への回答を3点ほどご紹介しようと思います。

一つ目は、「消防車はなぜ赤色なんですか?」という質問です。これは、運輸省令で定められており正確には、「朱色」とされております。理由については、初めて輸入された消防車が赤色だったことや炎の色を連想されるからです。

二つ目は、「119番は、いつから始まったのですか?」という質問。緊急電話サービスは、大正15年から始まり、消防への通報番号は112番でした。当時はダイヤル式の電話であったため繋がる時間の短い112番を採用しましたが、掛け間違いが多かったため翌年から現在に至る119番としました。

三つ目最後の質問は、「消防車と救急車でサイレンの音が違うのはどうしてですか?」という質問です。昭和23年から始まった消防の救急業務は、昭和45年頃まで救急車も消防車と同じ「ウーウー」というサイレン音でした。しかし、救急車は、患者を乗せる車であることや出動頻度が高いなどの理由で、聞く人に優しいとされる「ピーポー」音へと変わりました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年3月22日(木)
担当者 まちづくり担当参事 熊田 仁

(3月末をもって北広島市を退職され、北海道開発局に戻られる、まちづくり担当の熊田参事が今年度最後の朝のスピーチをしました。)

おはようございます。まちづくり担当参事の熊田です。

私は、この3年間、公共施設等総合管理計画、立地適正化計画、ボールパーク誘致などを担当させていただきました。

3年間の業務を通じ、地方自治体の仕事の幅広さ、様々な考えを持つ市民との合意形成の大変さなど、国の機関にいたときには分からなかったことを、いくつも学ばせていただきました。

私も様々な業務を行いながら、北広島市にとって、どのようなまちづくりが望ましいのか自問自答してきましたが、その答えは見つかっていません。あるいは、答えなど初めから存在しないのかもしれませんが。

コンパクトシティ、にぎわい創出、利便性の向上など、まちづくりを語るフレーズは色々ありますが、私は、言葉で言う理念や考え方を、市民の生活実感に反映するためには、長い時間といくつもの取組が必要だと考えています。

しかしながら、地方都市の将来像を描くことが難しくなっているこの時代において、北広島市は、まだまだ大きなポテンシャルを持っているまちだということも、大げさではなく、思っています。

そして、北広島市のまちづくりに、ほんの少しですが携わらせていただいたことは、かけがえのない経験となりました。

このまちで出会った全ての方々に感謝をし、北広島市がもっと素晴らしいまちになっていく姿を、遠くから見続けさせていただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。